

「CSO の開発効果」 マルチステークホルダー・ダイアログについて

■概要

2010 年 9 月に CSO 開発効果オープンフォーラム第 1 回世界大会が開催され、CSO 開発効果国際枠組み案がまとめられた。第 1 回世界大会の流れを受け、JANIC は 2011 年 2 月に CSO の開発効果の国内コンサルテーションを実施。国内コンサルテーションの議論を踏まえ、以下の要領でマルチステークホルダー・ダイアログを開催し、CSO が活動しやすい政策環境をテーマに、政府機関、国会議員を交えて議論を行った。

- ◇ 2011 年 3 月 7 日(月) 15:00～17:00
- ◇ 会場:全国社会福祉協議会(全社協) 灘尾ホール5階 第 3・第 4 会議室
- ◇ 主催:(特活)国際協力 NGO センター(JANIC)
- ◇ 助成:米日財団 協力:(特活)関西 NGO 協議会、(特活)名古屋 NGO センター

■目的

- 1) CSO 開発効果の原則とガイドライン、CSO 開発効果を実現するための政策環境づくりに関する日本の NGO の見解を、政府機関関係者及び国会議員に伝え、日本政府よりCSO開発効果の原則の支持を得ること。
- 2) CSO 開発効果を実現するための政策環境づくりの推進に向けて、政府機関関係者及び国会議員とのパートナーシップを構築すること。

■参加者 36名

- ・国会議員:参議院議員 藤田幸久氏(民主党)、衆議院議員 河野太郎氏(自民党)、衆議院議員 山内康一氏(みんなの党)
- ・外務省:能化正樹氏(国際協力局 参事官)、山田彰氏(国際協力局 地球規模課題参事官)、横田敬一氏(国際協力局 開発協力企画室長)、山口又宏氏(国際協力局 民間援助連携室長)、他
- ・JICA:大金正知氏(国内事業部 次長)、長英一郎氏(企画部 参事役)、他
- ・NGO:22 名

■議題

第 1 部: 総論「CSO の開発効果を高めるための原則と政策環境づくり」

- ①CSO 開発効果の国際的な議論と日本の国内コンサルテーションの報告
- ②各ステークホルダーからのコメント
- ③まとめ

第 2 部: 各論「政府と NGO の公平なパートナーシップの実現に向けて」

- ①途上国 CSO の政策環境と日本政府との関係について
- ②日本の NGO の支援の課題

以上